

都市計画道路登戸2号線沿道 まちづくりレポート

都市計画道路登戸2号線沿道では、『多彩な人々を引き寄せ、人々が楽しみ、憩う通り』をめざし、2号線沿道のまちを共に作り、育てるため、沿道権利者とともに勉強会を開催し、検討を重ねています。令和3年度の活動内容や検討結果について、ご紹介いたします。

1. 令和3年度の取組み

(1) まちづくりコンセプトブックの周知・PR活動の実施

令和3年4月に策定した「まちづくりコンセプトブック」について、市HPや広報等への掲載を行うとともに、地域イベントの開催や体験会の実施等に合わせて、“なかま”集めのための周知・PRに取り組みました。

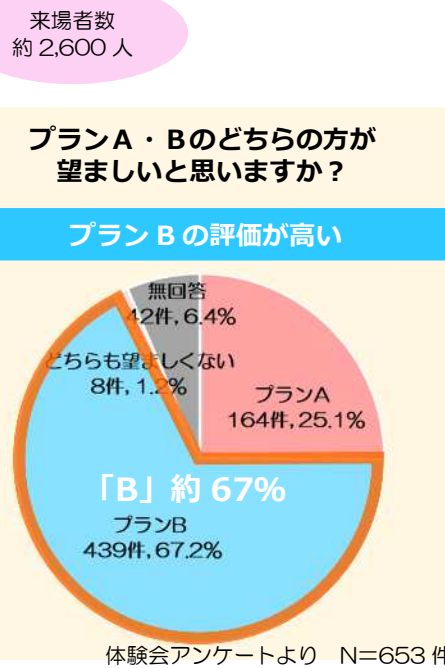
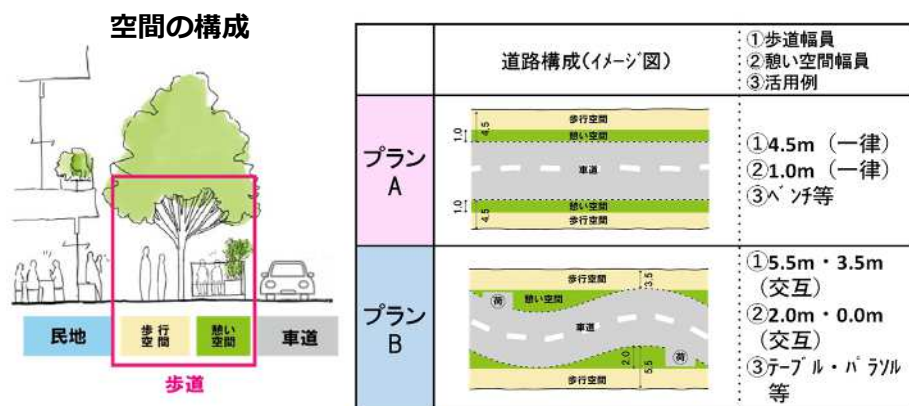
<h4>①市HPに掲載</h4>	<h4>②各種情報媒体で紹介</h4>	<h4>③イメージスケッチの看板設置</h4>	<h4>④体験会でコンセプトブックを配布</h4>
------------------	---------------------	-------------------------	---------------------------

(2) 公共空間の利活用に対する意識啓発と道路計画の検討

「コンセプトブック」に基づくまちの将来像の実現に向けて、通りとしての一体的なにぎわいづくりのために、歩道の一部を憩いや交流の場として活用することの提案や、登戸2号線にふさわしい道路構成について、近隣住民や来街者に意見を伺う体験会を実施しました。

登戸2号線 道路空間利活用体験会【9/22(水)~9/26(日)実施】

体験会では、プランA(歩道幅員 4.5m・4.5m)とプランB(歩道幅員 5.5m・3.5m)の2つの道路空間を再現し、アンケート調査を実施しました。



(3) 2号線の道路計画の具体的検討・「勉強会」の継続開催

昨年度に引き続き、土地所有者の皆さまと2号線のまちづくりについて継続的に意見交換や情報共有を行う「勉強会」を開催しました。体験会の実施結果を踏まえながら、2号線の道路計画の内容について具体的な検討を進めるとともに、公共空間の使い方や維持管理方法について議論しました。

体験会の結果を踏まえると、プランBがより通りのコンセプトに即していることから
プランBをベースに、実現に向けた検討を進めていくこととなりました

(勉強会で出た「意見(実現に向けた課題等)」)

- ・飲食スペースを設けるとゴミの問題などが心配。運用ルールをどうしていくか、考えていくことが必要。
- ・キッチンカーを出すのであれば、沿道テナントと競合しないような業種の選定が課題となる。
- ・子供の飛び出しや、車の逸走等も含め、本当に安心して憩える空間になるかが分からない。



(4) まちづくりの実践

周辺の道路・宅地整備工事が進んだことにより、市の管理用地や開通前の登戸2号線を使ったイベントが多数行われました。こうした取組により、まちに人々が訪れる機会が増え、結果として、登戸2号線沿道のにぎわいに繋がるのが期待されます。

<h4>登戸まちなか遊縁地 2021【11/20(土)実施】</h4> <p>沿道の管理用地にて</p>	<h4>BookBookBook【12/18(土)実施】</h4> <p>沿道の管理用地にて</p>	<h4>空想するノボリト【3/26(土),27(日)実施】</h4> <p>周辺の管理用地にて</p>
------------------------------------------------------	----------------------------------------------------	-----------------------------------------------------

【参考】登戸・遊園ミライノバについて

- ・区画整理で生まれ変わろうとしている事業区域内において、道路や空地等を使い、にぎわいと交流を創出するための取組のこと。
- ・令和3年7月より、川崎市と小田急電鉄株が連携・協力して、日常的なにぎわいづくりのために、定期的にキッチンカー等が出店する「イツモの日」と、地域の方々や共創パートナー等がイベントを行う「ハレの日」を実施しています。

「イツモの日」の様子

ミライノバ ハレの日 2021【11/27(日)実施】

登戸駅前にて 周辺の管理用地にて 登戸2号線と沿道の管理用地にて